

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	キッズbond大福	公表日	2026年 2月 20日
------	-----------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	9	0	・訓練室、多目的室、学習室があり、十分な広さを確保することができている。	
	2	9	0	・子どもの利用人数に合わせて、適切に配置されている。	
	3	9	0	・出入口の階段が少し危ない為、昇降が不安な子どもは手を繋いで昇降するようにしている。	・出入口の階段に、手すり等があると安全。 ・初めての子どもや見通しの持ちにくい子どもにとっても、分かりやすい環境となるよう、工夫していきたい。
	4	9	0	・毎日、室内の清掃や消毒を行っており、マット等も定期的に洗濯している。 ・落ち着いて過ごせる部屋と活発に動ける部屋を分けている。	
	5	9	0	・必要に応じて、職員室や学習室でクールダウンを行うことがある。	・ちょっとした個別空間が手軽に作れるよう、パーテーション等があると良いかもしれない。
業務改善	6	9	0	・毎朝ミーティングを行い、職員会議も定期的に行っている。	
	7	9	0	・年に1回、保護者に向けて評価表を配布し、意見を頂いている。	・送迎時に把握した意見等も、より正確に受け止め、業務改善に努めていきたい。
	8	9	0	・ミーティングや職員会議で、誰でも発言できる機会がある。 ・普段からコミュニケーションを取り、意見を発しやすい雰囲気を作っている。	・会議に参加できない職員の意見や、思っていた意見をすぐにメモできるような用紙を設置してはいるが、これまで以上に、意見を集めて改善に繋げる仕組みを作りたい。
	9	5	4	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	9	0	・定期的に社員研修があり、外部の研修にも会社負担で参加することができる。	・職員同士でも事例の共有を行い、学びの機会を増やしていきたい。
適切な支	11	9	0	・ホームページにて公表されている。	
	12	9	0	・アセスメントはVineland-IIを実施。 ・相談支援専門員との情報共有や保護者とのモニタリングを踏まえうえで作成している。	・アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。
	13	9	0	・アセスメント評価は児発管以外の職員も必ず行っている。また、案が出来上がった際には、担当者会議で児発管以外の職員にも見てもらい、一緒に検討している。	・アセスメント内容の事前共有、短時間での打ち合わせの機会を増やし、複数の職員で十分に検討できる体制づくりを図りたい。
	14	9	0	・全職員がすぐに見れる場所にファイリングして置いてある。 ・毎朝のミーティングでも、支援計画の読み上げを行い、支援内容を意識して支援ができるよう努めている。	
	15	9	0	・アセスメントはVineland-IIを使用している。また、個人記録を毎日記録し確認している。	
	16	9	0	・子ども一人ひとりの状況、利用日数などの現状にも配慮し、実現可能な支援内容をスーパervayを受けながら設定している。	・職員間で確認項目を統一し、子どもごとの支援内容をより具体的に設定できるよう取り組みたい。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・正職員全員で話し合って決めている。	・職員間でのアイデア共有や、短時間ミーティングをさらに充実させていきたい。 ・パート職員からもアイデアを集めていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・活動の一覧表を作成し、固定化しないようにバランスよく組み込んでいる。また、新しい活動も検討するようにしている。	・季節行事や、子どもたちのリクエストを積極的に取り入れ、プログラムの幅を広げたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・支援計画に基づいて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	・子どもの当日の状態や興味を共有する仕組みを整え、支援計画への反映をさらに丁寧に行えるようにしたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝のミーティングで、その日の担当者が説明をし、活動内容や役割分担等の最終確認や、情報共有を行っている。	・担当者が事前に活動計画書を共有しているため、周知を徹底し、ミーティングの円滑な進行を図りたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・その日に気になったことは必ず共有し、その日いない職員には翌朝のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・個人記録はその日の内に記入をし、内容の共有を行うことで支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・原則として、半年に一度のモニタリングを行い、家庭での様子を伺いながら、ニーズや課題を把握している。	・得られた気づきを職員間で共有し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みを作りたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・主に児発管が参加し、児発管が参加できない時は、他の職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・医療ケアを必要とする子どもが現在いない為、医療機関等とは連携を行っていないが、保育所等との連携は、必要に応じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・必要に応じて連絡を取り、情報共有や相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・必要に応じて連絡を取り、情報共有や相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	・必要に応じて連携し、助言を受けることがある。	・児童発達支援センターとの連携は不十分だと感じている。今後は改善し連携していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・お出かけ先の公園等で地域の子どもの関わりが持てることはあるが、保育所等との交流はない。	・子どもの興味や特性に合わせて、地域での活動先の選択肢を広げられるようにしたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・日頃から送迎時や連絡帳、LINEを通して保護者に様子をお伝えしている。	・子どもの変化をより丁寧にお伝えできるよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	・ご家族の参加できる研修の機会がない。	・相談支援は行っているが、ペアレントトレーニングが不十分だと感じている。今後は積極的に取り入れていきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に丁寧に説明を行い、質問等にも分かりやすく応じている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・原則として、半年に一度のモニタリングを行い、その際に保護者のニーズを確認している。	・意向確認の機会を増やし、より丁寧に反映できる体制を作っていきたい。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・支援計画の内容を丁寧に説明し、同意を得た上でサインを頂いている。	・保護者がより理解しやすいよう提示方法を工夫し、同意形成を丁寧に進めていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・モニタリングや送迎時、LINEでの相談にも応じている。また、必要に応じて心理士との面談の機会も作っている。	・保護者がより相談しやすい場や方法を考え、安心して悩みを話せる環境を作っていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	・開催したいとは思っているが、実現できていない。	・キッズボンドグループの他教室が開催している保護者会などを参考に開催を検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・支援に直接関わる情報は迅速に周知対応するように努めている。	・体制の見直しをし、保護者がより安心して意見を伝えられるようにしていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月、通信と予定表の配布をし、SNS(インスタ、Facebook)でも発信している。 ・子どもにも行事が分かりやすいよう、写真を用いたチラシを作って配布している。	・保護者だけではなく、子どもたちにも期待してもらえるような発信方法をさらに考えていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・書類は鍵の付いた書庫に保管し、SNSや通信の写真は、保護者の同意を得たうえでモザイクをかけている。	・職員間での確認体制を見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・視覚的支援など、分かりやすい伝え方の配慮をしている。	・子どもの特性に合った、より多様な伝え方の工夫を進めていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	・近くの障害者施設さんの行事に参加してもらうことはあるが、地域住民を招待することは現在できていない。	・地域住民を招待する行事や地域に開かれた事業運営は、今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定し、ファイリングしたものを玄関に設置し、誰でも自由に見られるようにしている。	・各種マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・業務継続計画(BCP)を策定し、ファイリングしたものを玄関に設置し、誰でも自由に見られるようにしている。また、毎月火災、地震、水害の避難訓練を行事予定に組み込んでいる。	・マニュアルの要点を現場で確認しやすい形に整理し、迅速な行動に繋げていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・薬の服薬、てんかん発作などの有無は見学・契約時に確認している。また、予防接種を受けたときは、LINEや連絡帳等で伝えてもらっている。	・日々の変化も把握できるよう、職員間で共有方法をさらに整備していきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・医師より指示されている保護者より情報を頂き対応をしている。また、保護者との綿密な打ち合わせを通じて対応を考え、職員全員に分かるように掲示されている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成しており、研修にも参加している。	・職員への周知と、定期的な訓練の機会をしっかりと設けていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・毎月の通信やSNSに、取り組みや活動内容を載せて報告している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・事業所内だけでなく会社全体で共有している。また、毎月の職員会議でも取り上げて話し合いをし、再発防止案を検討している。	・検討内容をより体系的に残せる仕組み作りについて、今後検討していきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に行われる社内での研修に参加している。また、全職員に対してのアンケートも毎月行っている。	・日々の支援場面での気づきを共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	・運営規定に記載しており、保護者には、契約時に必ず説明し了承を得ている。	・職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。	